

平成27年3月期 決算説明会

平成27年6月15日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I .平成27年3月期 決算概要

連結決算ハイライト



百万円	前期実績	当期実績		
	(H26年3月期)	(H27年3月期)	増減額	増減率
売 上 高	110,265	111,998	1,733	1.6%
営 業 利 益	4,658	3,298	▲ 1,360	▲ 29.2%
経 常 利 益	6,104	4,024	▲ 2,080	▲ 34.1%
当 期 純 利 益	4,680	927	▲ 3,753	▲ 80.2%
1株当たり純利益	264.87円	47.75円	▲ 217.12円	▲ 82.0%

POINT

北米での生産増加により増収となりましたが、タイの減産影響、北米の港湾問題等によるロスおよび北米事業における特別損失の計上により減益となっております

ご参考

USD 27/3期 105.79円 26/3期 97.73円 8.06円の円安
 CNY 27/3期 17.18円 26/3期 15.92円 1.26円の円安
 THB 27/3期 3.26円 26/3期 3.18円 0.08円の円安

百万円	前期実績 (H26年3月期)	当期実績 (H27年3月期)	増減	
			増減額	増減率
総 資 産	88,209	93,564	5,355	6.1%
純 資 産	42,561	47,445	4,884	11.5%
自 己 資 本 比 率	47.8%	50.3%	-	-
1 株 当 た り 純 資 産	2,376.72円	2,293.76円	▲82.96円	▲3.5%

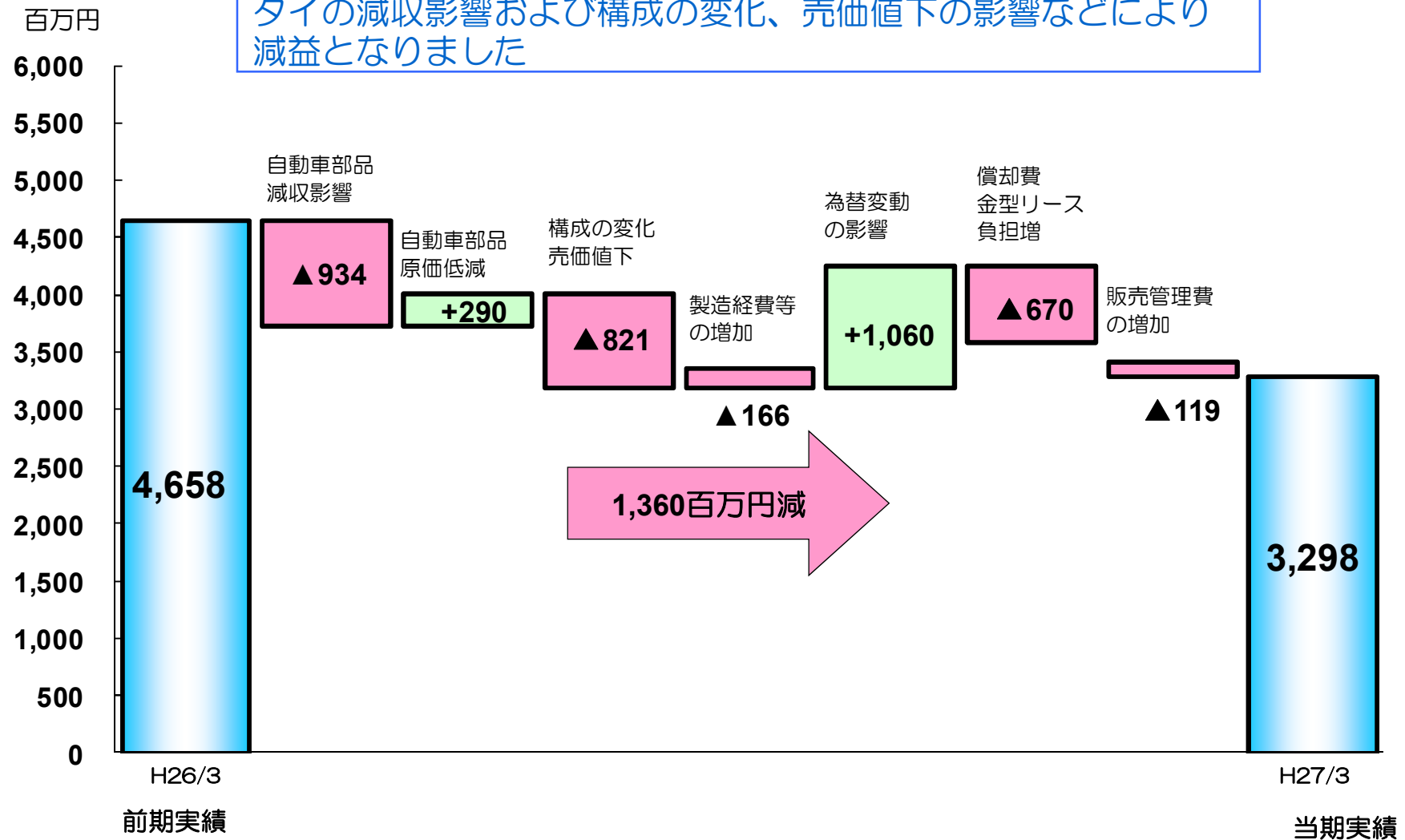
POINT

総資産は現金および預金の増加などにより増加いたしました
また純資産および自己資本比率は、転換社債の転換などにより増加いたしました

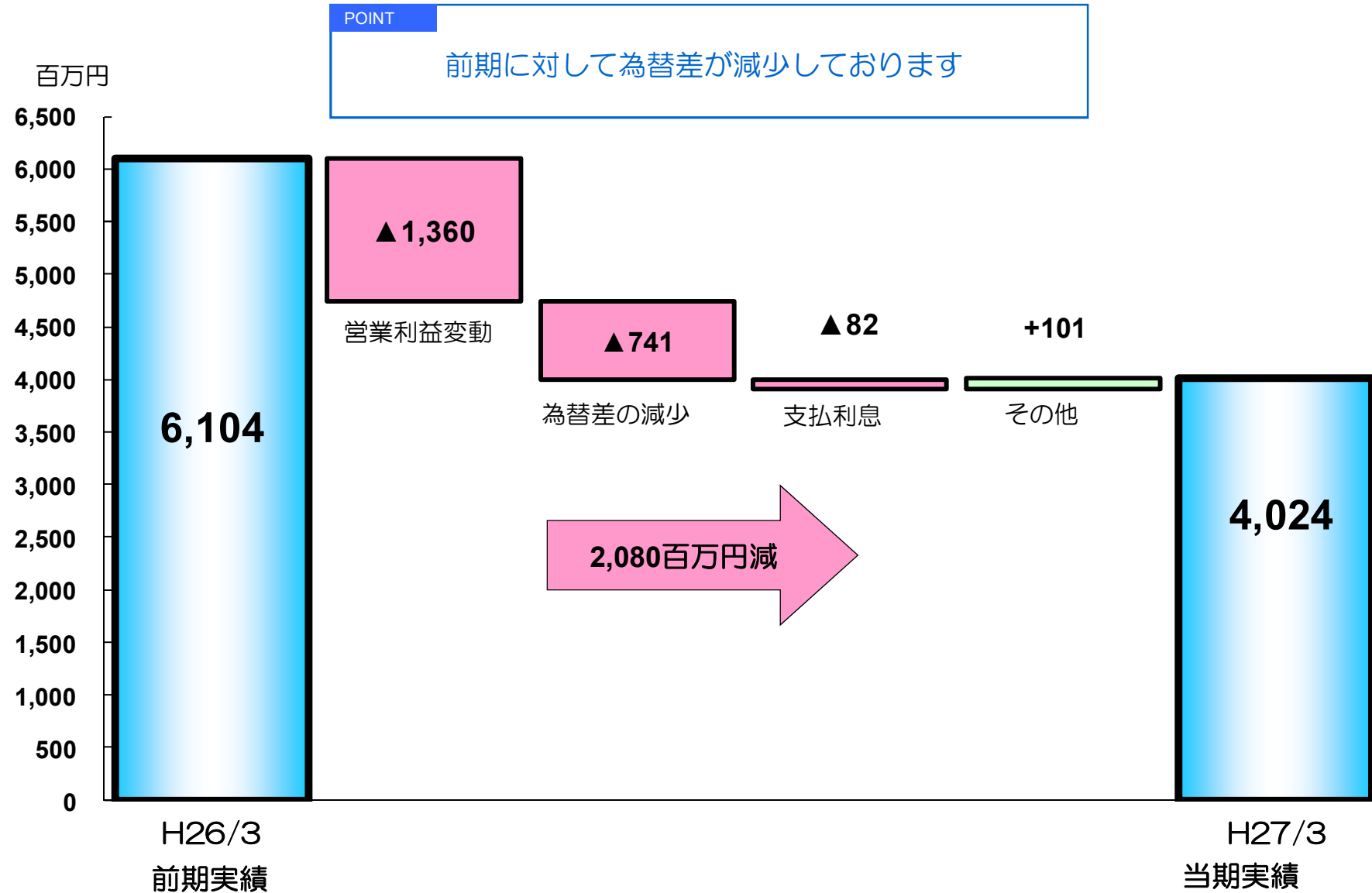
4Q実績 前年同期比変動要因：営業利益

POINT

タイの減収影響および構成の変化、売価値下の影響などにより減益となりました

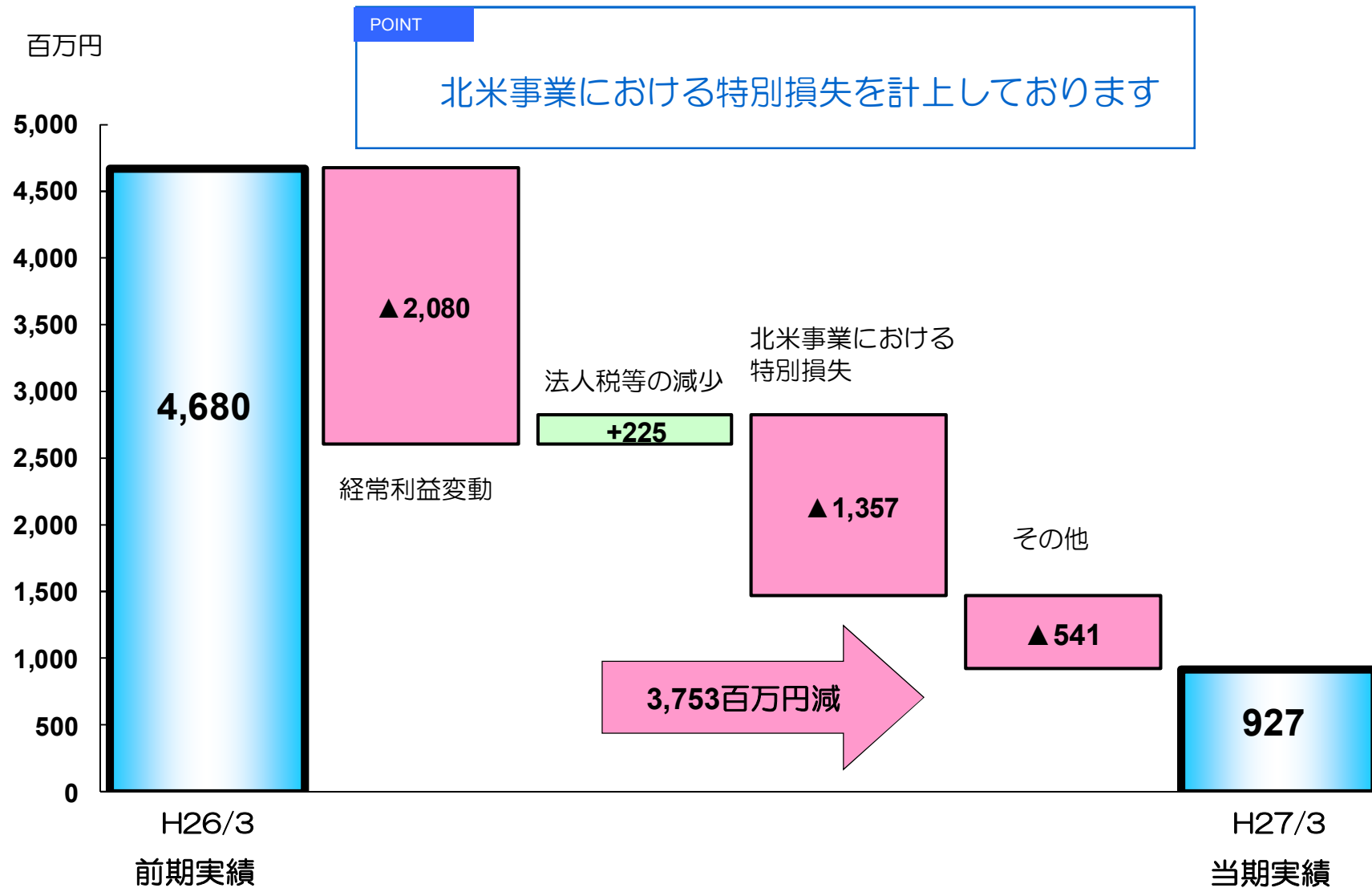


4Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

4Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益

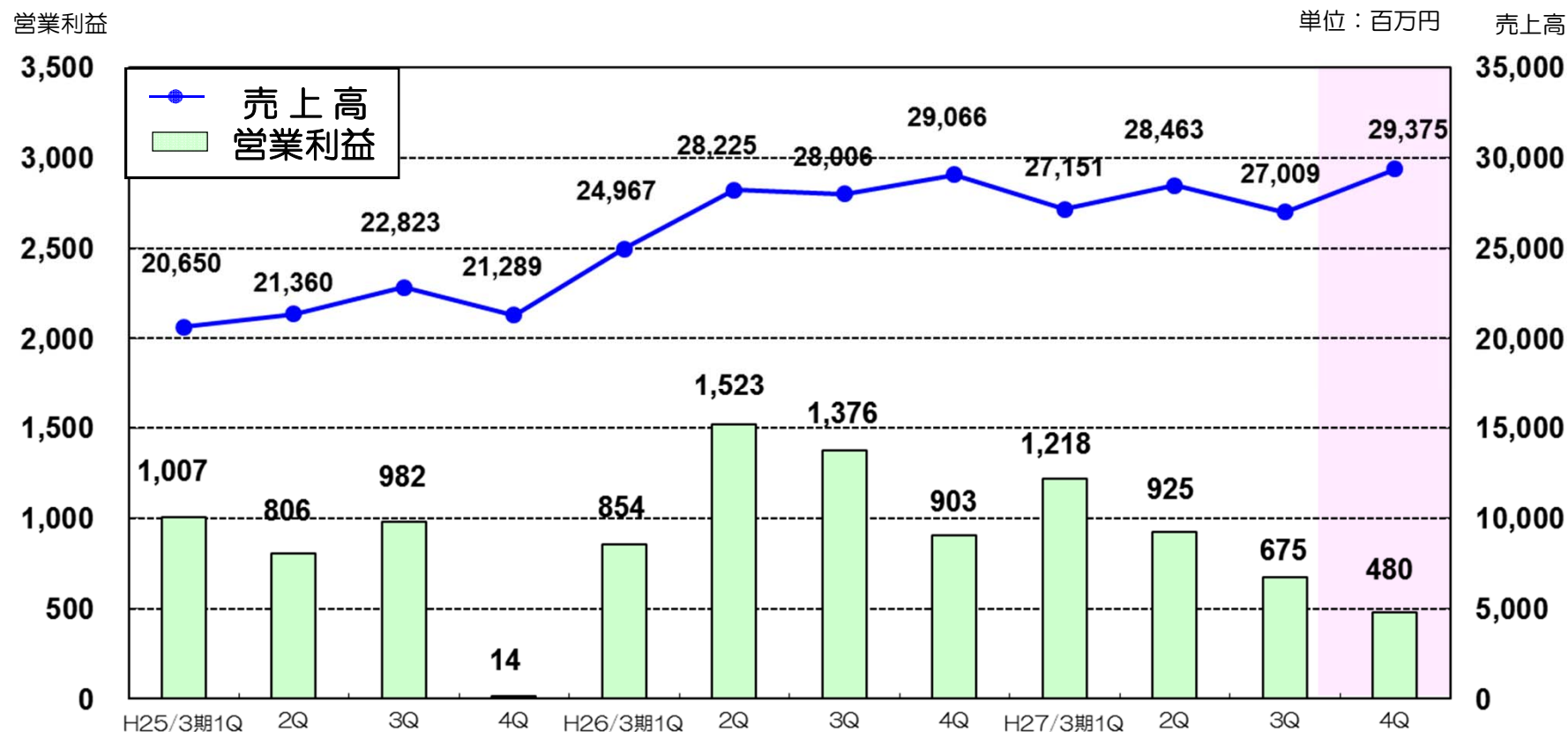


本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

四半期業績の推移



■連結売上高・営業利益の推移



POINT

北米の港湾問題などの影響により、第3四半期に比べ減益となりました

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

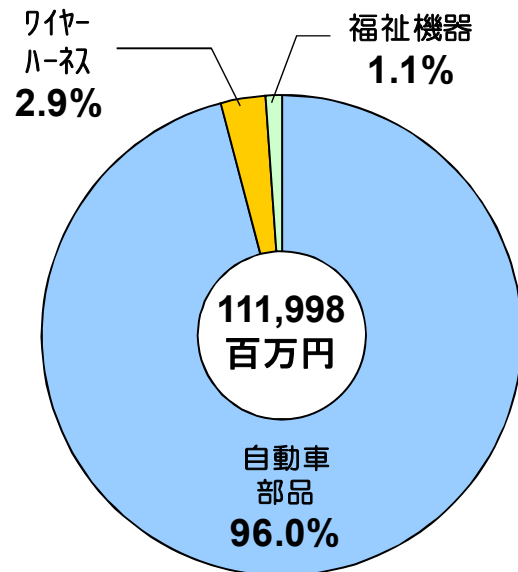


百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハー 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車販売 関連事業	連結
外部売上高	H27/3期	107,410	3,320	1,266	—	111,998
	H26/3期	105,982	2,802	1,097	383	110,265
	増減額	1,428	518	169	—	1,733
営業利益	H27/3期	3,129	56	91	—	3,298
	H26/3期	4,564	59	26	▲ 4	4,658
	増減額	▲ 1,435	▲ 3	65	—	▲ 1,360

POINT

メインの自動車部品関連事業とワイヤーハーネス関連事業が増収減益、福祉機器関連事業が増収増益となりました

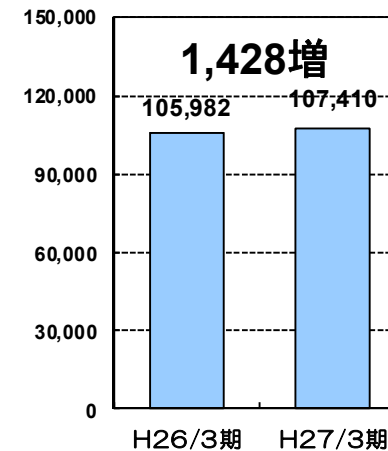
事業の種類別 売上高構成



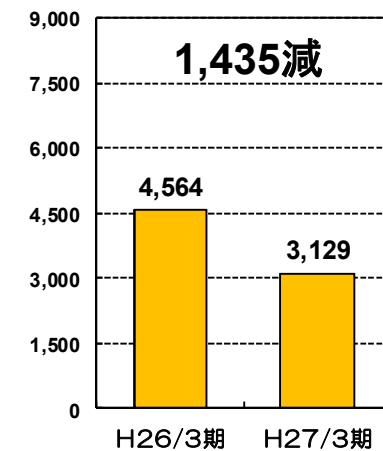
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益



事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

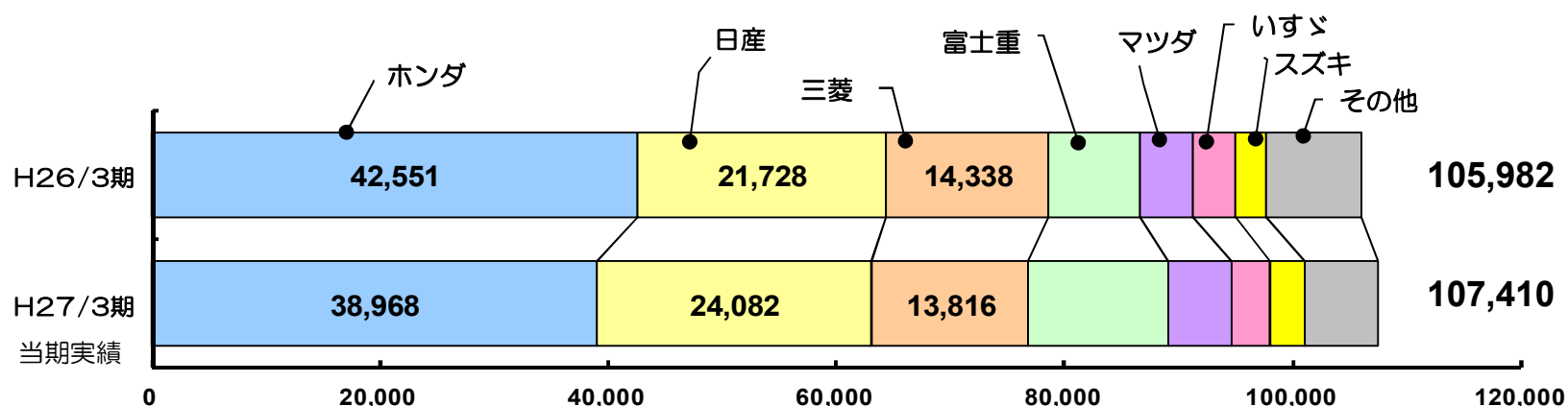


得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	42,551	40.1%	38,968	36.3%	▲ 3,583	▲ 8.4%
日産自動車(株)	21,728	20.5%	24,082	22.4%	2,354	10.8%
三菱自動車工業(株)	14,338	13.5%	13,816	12.9%	▲ 522	▲ 3.6%
富士重工業(株)	8,040	7.6%	12,156	11.3%	4,116	51.2%
マツダ(株)	4,632	4.4%	5,591	5.2%	959	20.7%
いすゞ自動車(株)	3,616	3.4%	3,439	3.2%	▲ 177	▲ 4.9%
スズキ(株)	2,708	2.6%	2,930	2.7%	222	8.2%
ダイハツ工業(株)	1,013	1.0%	977	0.9%	▲ 36	▲ 3.6%
トヨタ自動車(株)	444	0.4%	535	0.5%	91	20.5%
日野自動車(株)	400	0.4%	383	0.4%	▲ 17	▲ 4.3%
ヤマハ発動機(株)	140	0.1%	129	0.1%	▲ 11	▲ 8.2%
その他	6,367	6.0%	4,399	4.1%	▲ 1,968	▲ 30.9%
計	105,982	100.0%	107,410	100.0%	1,428	1.3%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・ 国内、中国、タイにおける生産減少
- 日産系列向け
 - ・ 北米、中国における生産増加
- 三菱系列向け
 - ・ 国内、タイにおける生産減少
- 富士重系列向け
 - ・ 国内、北米における生産増加
- マツダ系列向け
 - ・ 国内、中国における生産増加



本資料の内容に関する一切の権利は株式会社仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業



■機種別 売上高構成

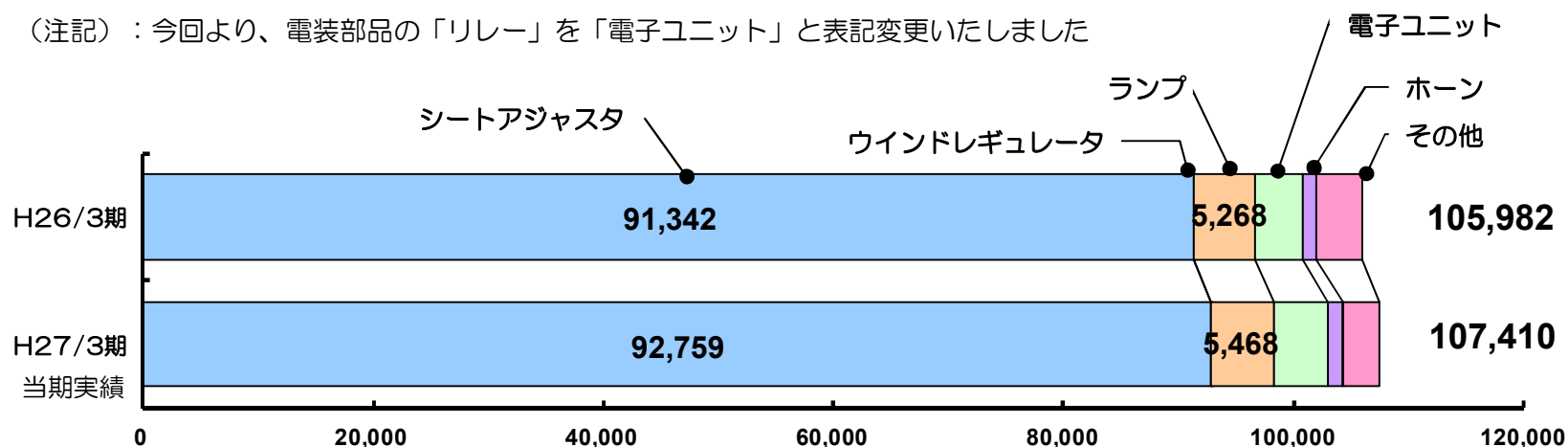
百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	91,403	86.3%	92,809	86.4%	1,406	1.5%
シートアジャスタ	91,342	86.2%	92,759	86.4%	1,417	1.6%
ウインドレギュレータ	61	0.1%	50	0.0%	▲ 11	▲ 18.0%
(2)電装部品	10,533	10.0%	11,476	10.7%	943	8.9%
ランプ	5,268	5.0%	5,468	5.1%	200	3.8%
電子ユニット	4,201	4.0%	4,709	4.4%	508	12.1%
ホーン	1,064	1.0%	1,297	1.2%	233	21.9%
(3)その他	4,045	3.7%	3,125	2.9%	▲ 920	▲ 22.7%
合 計	105,982	100.0%	107,410	100.0%	1,428	1.3%

POINT

■機構部品の売上は微増となりました

■電装部品は堅調に増加しております

(注記)：今回より、電装部品の「リレー」を「電子ユニット」と表記変更いたしました



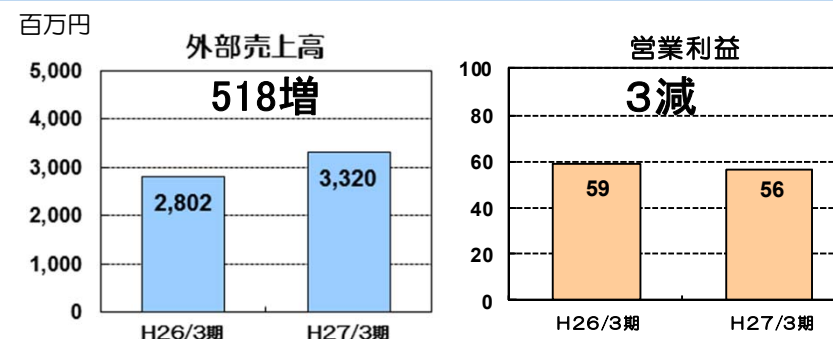
本資料の内容に関する一切の権利は倅今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：その他の事業

■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

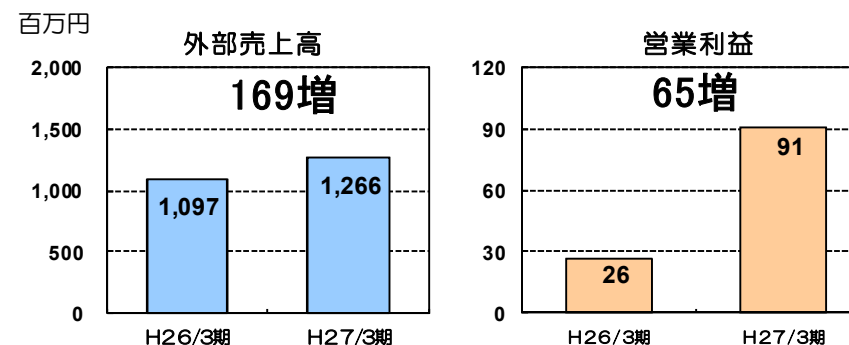
航空機関連向けの生産が増加しましたが、生産性改善の遅れなどにより増収減益となりました



■福祉機器関連事業

POINT

無動力の歩行支援機ACSIVEの販売効果などにより、増収増益となりました

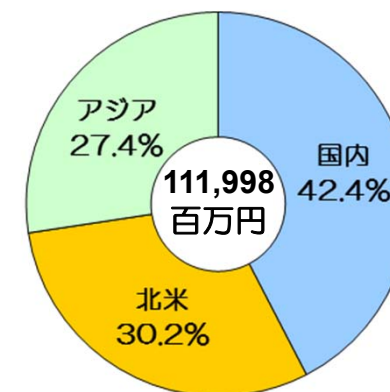


所在地別セグメント・海外売上高

■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H27/3期	47,456	33,876	30,665	111,998
	H26/3期	47,709	27,487	35,068	110,265
	増減額	▲253	6,389	▲4,403	1,733
営業利益	H27/3期	863	▲828	3,217	3,298
	H26/3期	664	287	3,881	4,658
	増減額	199	▲1,115	▲664	▲1,360

所在地別 外部売上高



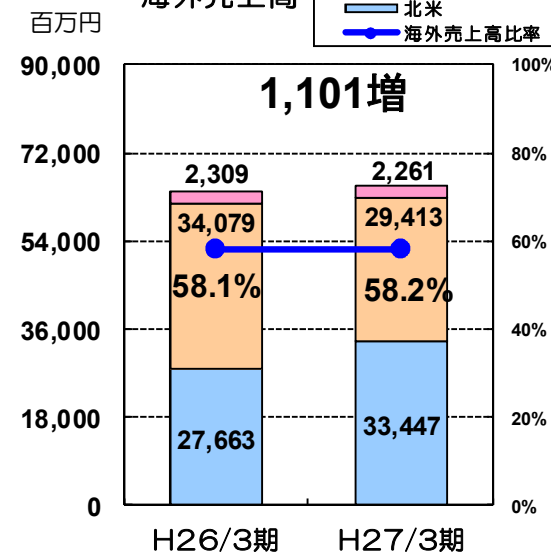
■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H27/3期	46,845	33,477	29,413	2,261	111,998
H26/3期	46,213	27,663	34,079	2,309	110,265
増減額	632	5,814	▲4,666	▲48	1,733

POINT

- 売上高の所在地別割合は北米の売上が増加し30%以上となりました
- 海外売上高比率は北米が増加、アジアが減少となり、全体として横ばいとなりました

海外売上高

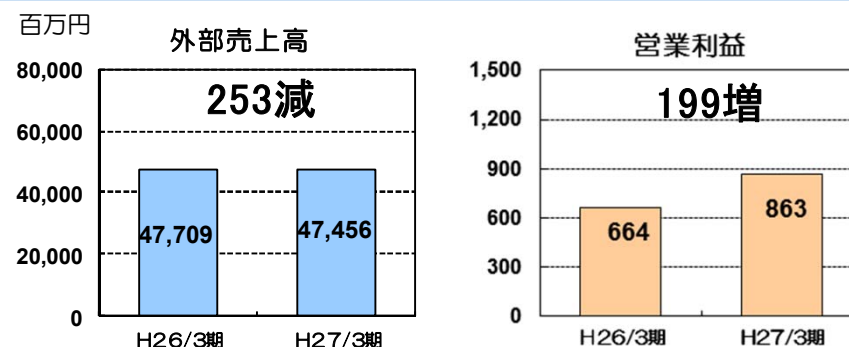


所在地別セグメント

国内

POINT

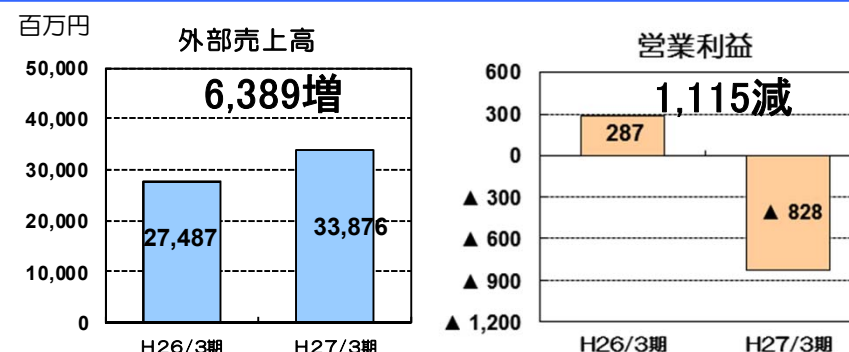
売上は減少となりましたが、各種改善活動などにより増益となりました



北米

POINT

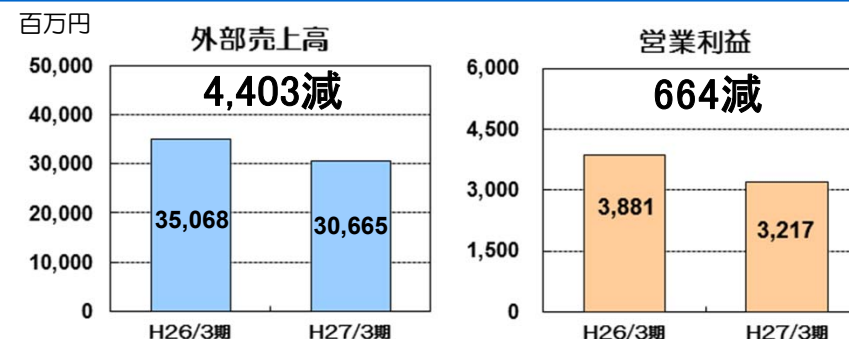
日産、富士重系列向けの生産増加により増収となりましたが、港湾問題などの影響で減益となりました



アジア

POINT

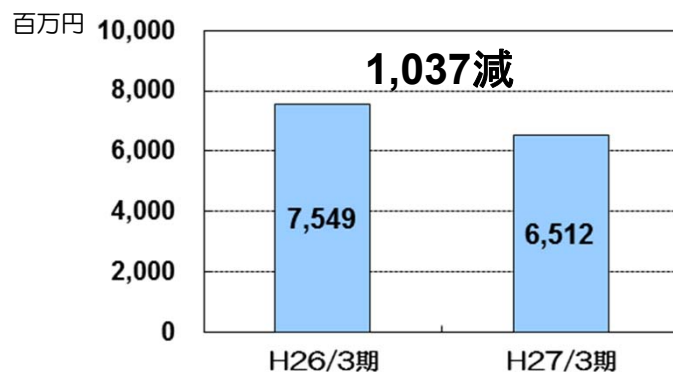
タイの生産減少により減収減益となりました



設備投資

POINT

生産設備投資などを見直したことで減少しました

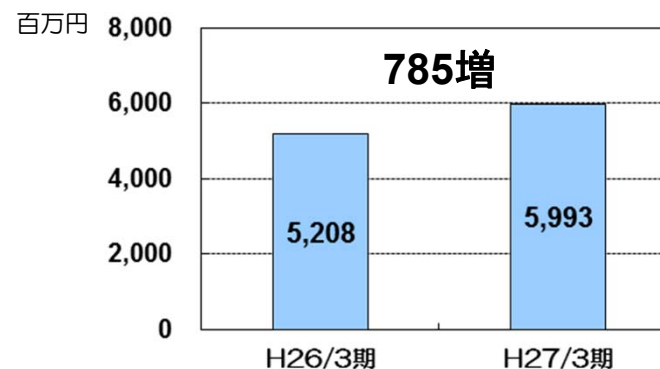


	26年3月期 (実績)	27年3月期 (実績)	前期比増減
日本	3,875	3,056	▲ 819
北米	1,496	1,829	333
メキシコ	971	442	▲ 529
中国	378	740	362
タイ	622	323	▲ 299
フィリピン	87	89	2
台湾	9	0	▲ 9
インド	108	27	▲ 81
インドネシア	-	3	3
合計	7,549	6,512	▲ 1,037

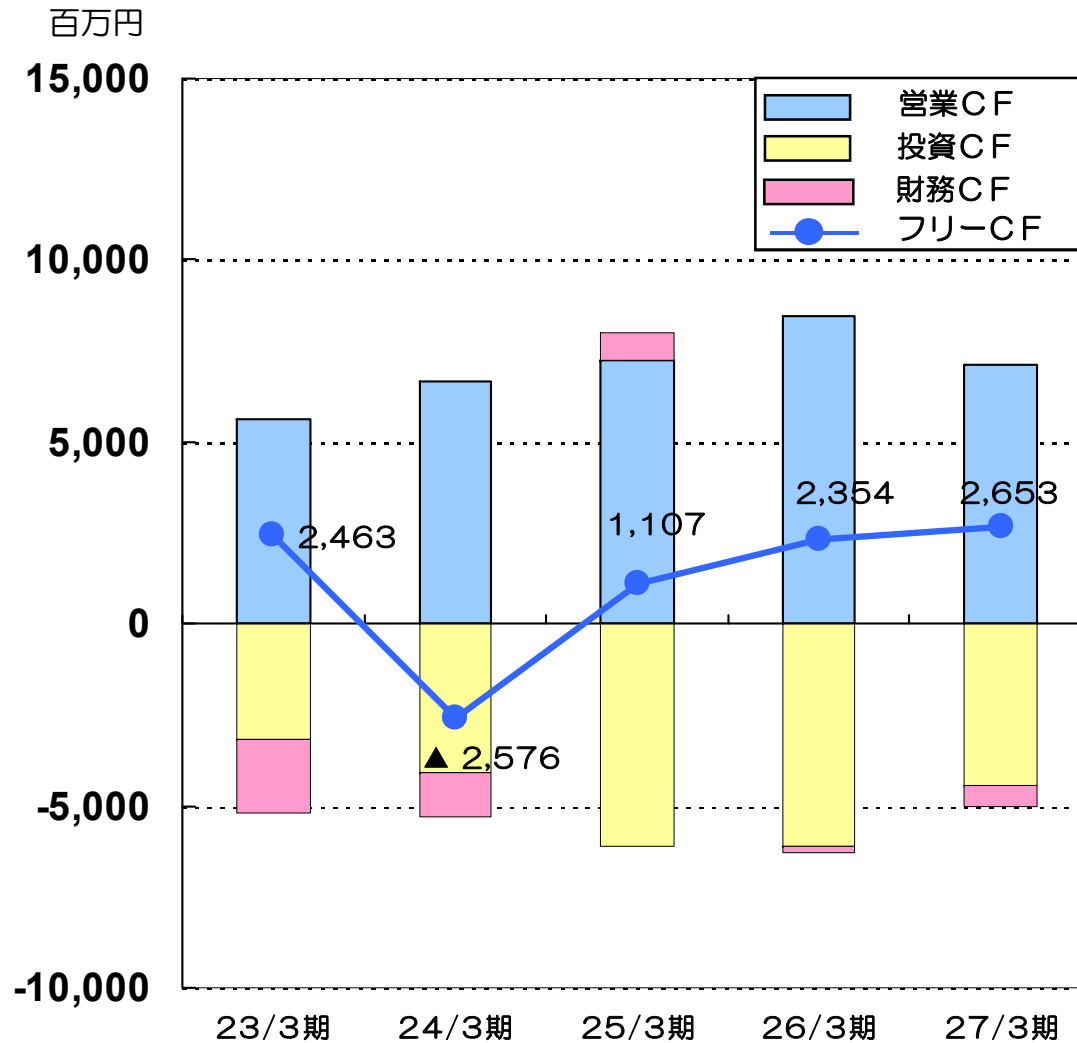
減価償却費

POINT

北米地域における投資の増加により償却費が増加しました



	26年3月期 (実績)	27年3月期 (実績)	前期比増減
日本	2,979	3,064	85
北米	1,228	1,739	511
メキシコ	9	75	66
中国	421	512	91
タイ	323	395	72
フィリピン	139	108	▲ 31
台湾	27	22	▲ 5
インド	78	74	▲ 4
インドネシア	-	0	0
合計	5,208	5,993	785



POINT

■ 営業CFは税前利益の減少により減少しました

■ 投資CFは投資の抑制により減少しました

■ 財務CFは、借入金の返済などにより増加しました

■ フリーCFは2,653百万円となりました

Ⅱ. 平成28年3月期 業績見通し概要

28/3期 業績予想



百万円	前期実績 (H27年3月期)	当期予想 (H28年3月期)	増減	
			前期比	増減 (%)
売上高	111,998	112,000	2	0.0%
営業利益	3,298	3,600	302	9.2%
経常利益	4,024	3,700	▲324	▲8.1%
当期純利益	927	1,500	573	61.8%
1株当たり 当期純利益	47.75円	73.17円	25.42円	53.2%

POINT

売上は前期並み、国内および北米における原価低減活動により増益を予想しております

ご参考

USD 28/3期 115円 27/3期 105.79円 9.21円の円安
 CNY 28/3期 16.8円 27/3期 17.18円 0.38円の円高
 THB 28/3期 3.2円 27/3期 3.26円 0.06円の円高

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

28/3予想 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

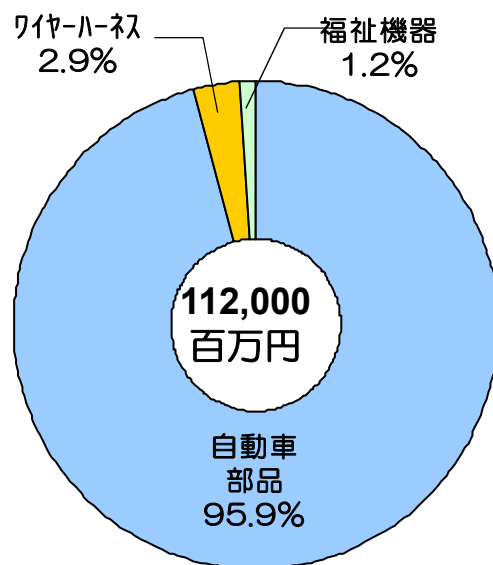


百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H28/3期	107,410	3,200	1,390	112,000
	H27/3期	107,410	3,320	1,266	111,998
	増減額	0	▲120	124	2
営業利益	H28/3期	3,410	60	120	3,600
	H27/3期	3,129	56	91	3,298
	増減額	281	4	29	302

POINT

自動車部品関連事業において売上は横ばいも、国内および北米の原価低減により増益を予想しております

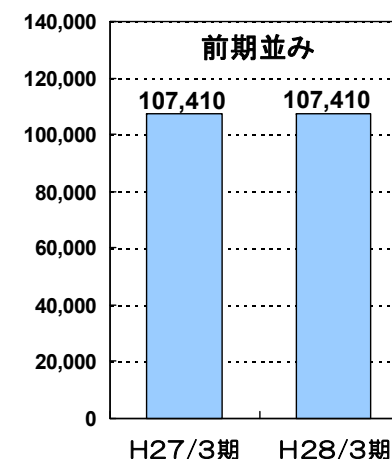
事業の種類別 売上高構成



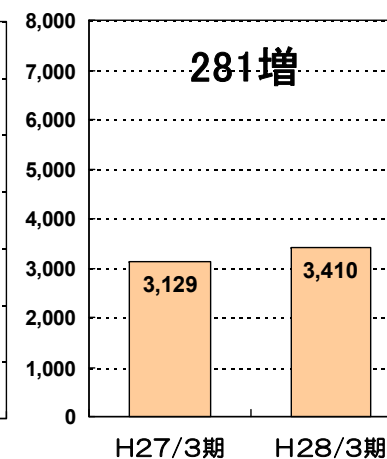
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益

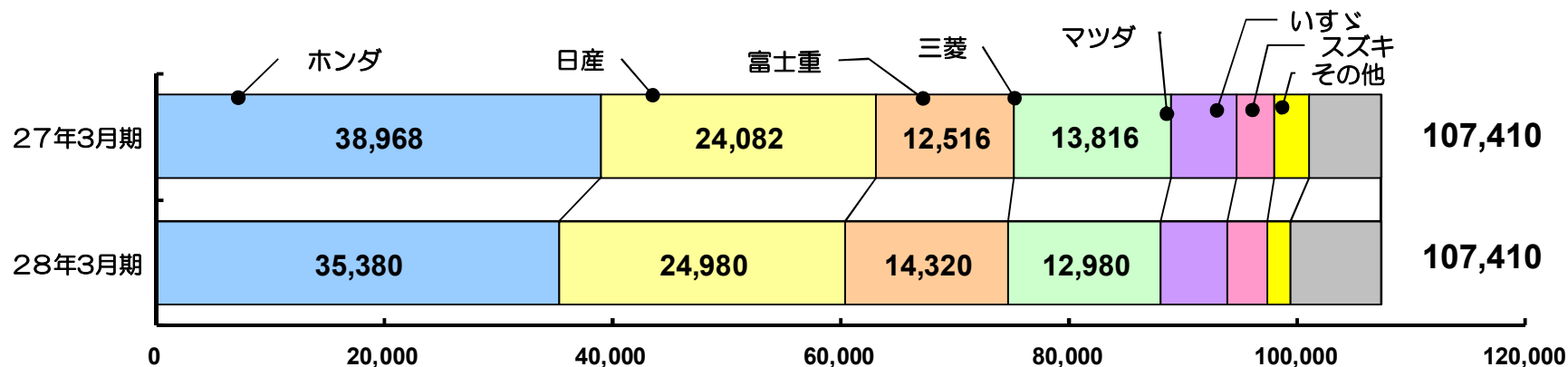


得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増 減	
		構成比		構成比	金額	率
本田技研工業(株)	38,968	36.3%	35,380	32.9%	▲ 3,588	▲ 9.2%
日産自動車(株)	24,082	22.4%	24,980	23.3%	898	3.7%
富士重工業(株)	12,156	11.3%	14,320	13.3%	2,164	17.8%
三菱自動車(株)	13,816	12.9%	13,340	12.4%	▲ 476	▲ 3.4%
マツダ(株)	5,591	5.2%	5,900	5.5%	309	5.5%
いすゞ自動車(株)	3,439	3.2%	3,470	3.2%	31	0.9%
スズキ(株)	2,930	2.7%	2,110	2.0%	▲ 820	▲ 28.0%
ダイハツ工業(株)	977	0.9%	930	0.9%	▲ 47	▲ 4.8%
トヨタ自動車(株)	535	0.5%	910	0.8%	375	69.9%
日野自動車(株)	383	0.4%	430	0.4%	47	12.1%
ヤマハ発動機(株)	129	0.1%	150	0.1%	21	16.2%
その他	4,399	4.1%	5,490	5.2%	1,091	24.8%
計	107,410	100.0%	107,410	100.0%	0	0.0%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・国内、中国、タイにおける生産減少
- 日産系列向け
 - ・北米、中国における生産増加
- 富士重工業系列向け
 - ・北米における生産増加
- マツダ系列向け
 - ・国内における生産増加
- いすゞ系列向け
 - ・前期並み
- スズキ系列向け
 - ・アジアにおける生産減少



28/3予想 事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業



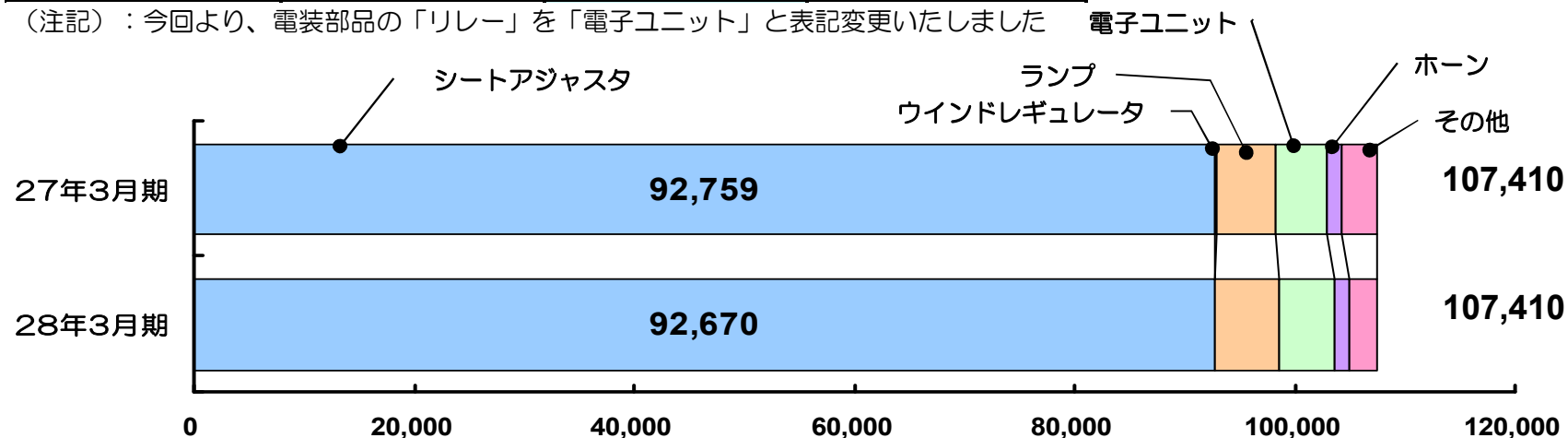
■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増 減	
		構成比		構成比	金額	率
(1)機構部品	92,809	86.4%	92,720	85.5%	▲ 89	▲ 0.1%
シートアジャスタ	92,759	86.4%	92,670	85.5%	▲ 89	▲ 0.1%
ウインドレギュレータ	50	0.0%	50	0.0%	0	▲ 0.6%
(2)電装部品	11,476	10.7%	12,270	11.2%	794	6.9%
ランプ	5,468	5.1%	5,810	5.3%	342	6.2%
電子ユニット	4,709	4.4%	5,050	4.6%	341	7.2%
ホーン	1,297	1.2%	1,410	1.3%	113	8.6%
(3)その他	3,125	2.9%	2,420	3.3%	▲ 705	▲ 22.6%
合 計	107,410	100.0%	107,410	100.0%	0	0.0%

POINT

シートアジャスタ中心の
事業構成に変化ありません

(注記)：今回より、電装部品の「リレー」を「電子ユニット」と表記変更いたしました



本資料の内容に関する一切の権利は株式会社仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

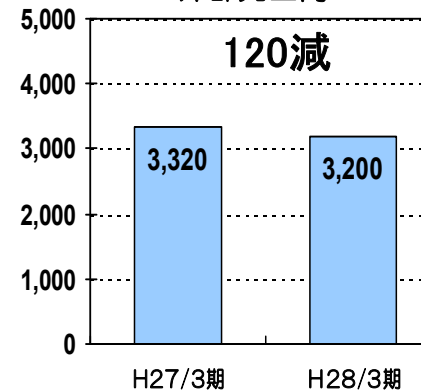
■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

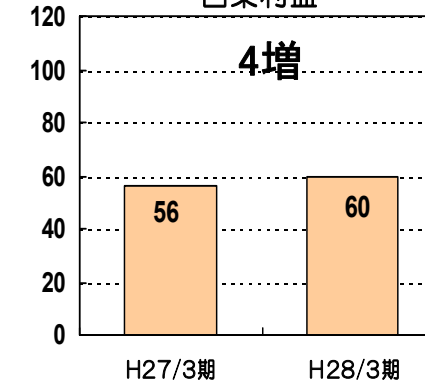
航空機関連は減収減益、工作機械関連は増収増益を見込んでおります

百万円

外部売上高



営業利益



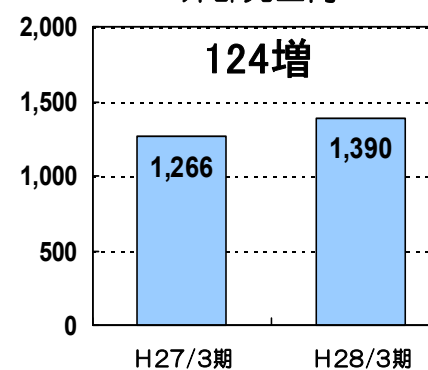
■福祉機器関連事業

POINT

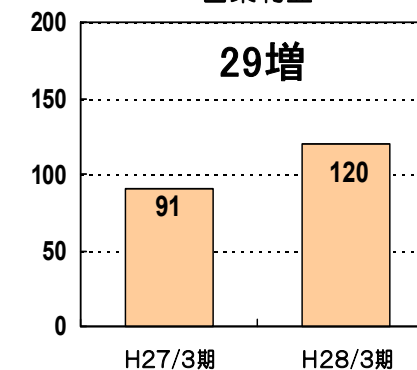
無動力歩行支援機「ACSIVE」などの新製品投入効果から増収増益を見込んでおります

百万円

外部売上高



営業利益



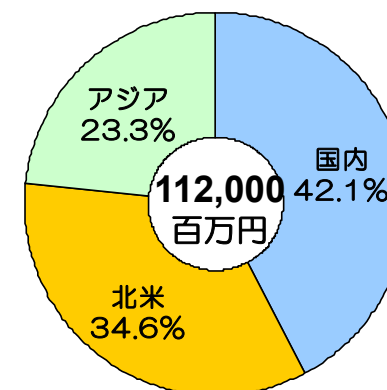
28/3予想 所在地別セグメント・海外売上高



■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H28/3期	47,090	38,770	26,140	112,000
	H27/3期	47,456	33,876	30,665	111,998
	増減額	▲ 366	4,894	▲ 4,525	2
営業利益	H28/3期	1,360	420	2,300	3,600
	H27/3期	863	▲ 828	3,217	3,298
	増減額	497	1,248	▲ 917	302

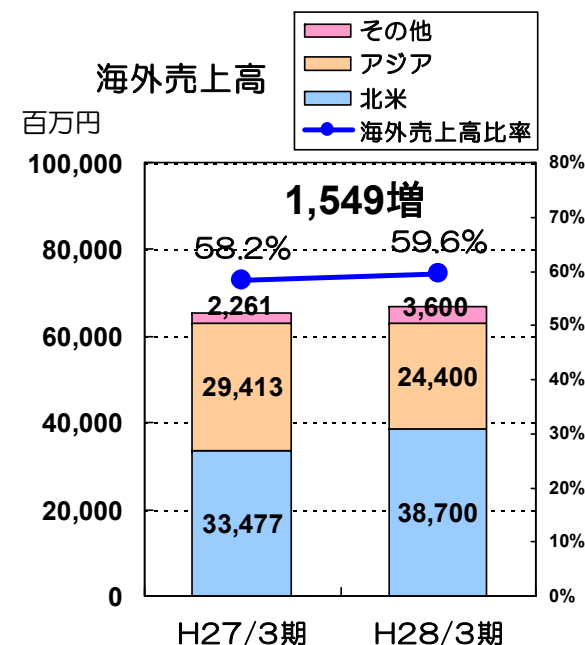
所在地別 外部売上高



■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H28/3期	45,300	38,700	24,400	3,600	112,000
H27/3期	46,845	33,477	29,413	2,261	111,998
増減額	▲ 1,545	5,223	▲ 5,013	1,339	2

海外売上高



POINT

■売上高の所在地別割合は北米の売上が増加し34.6%になると予想

■海外売上高は北米が増加、アジアで減少と予想

本資料の内容に関する一切の権利は伊崎今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

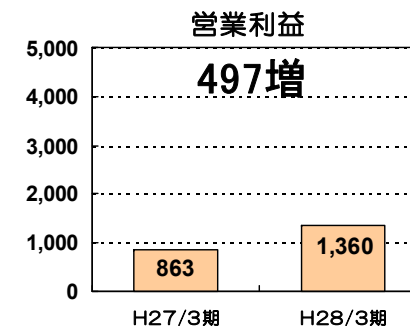
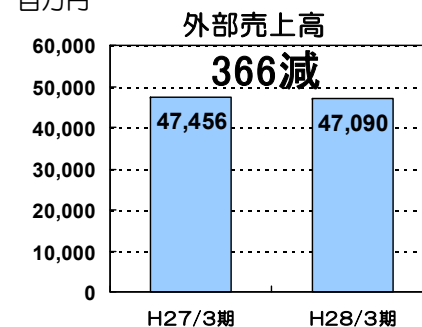
28/3予想 所在地別セグメント情報

国内

POINT

生産減少により減収となりますが
原価低減活動により増益を見込んでおります

百万円

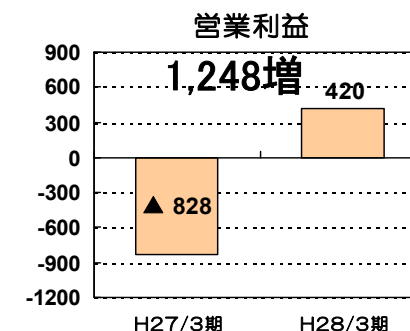
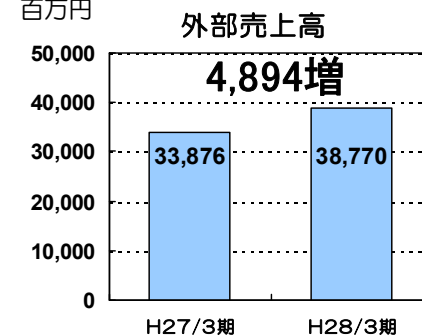


北米

POINT

生産増加により増収増益を見込んでおります

百万円

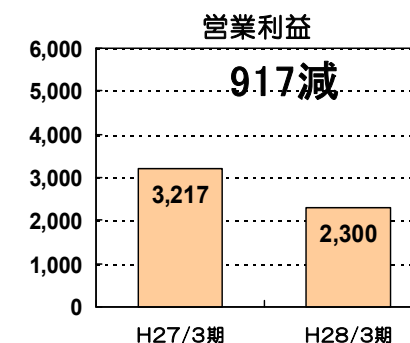
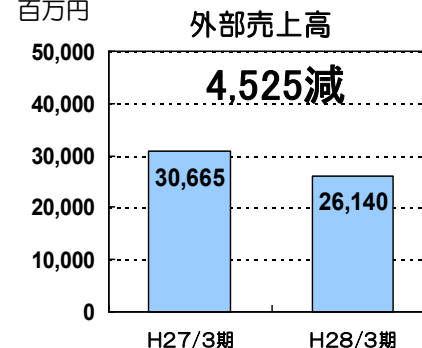


アジア

POINT

中国・タイなどの生産減少により
減収減益を見込んでおります

百万円

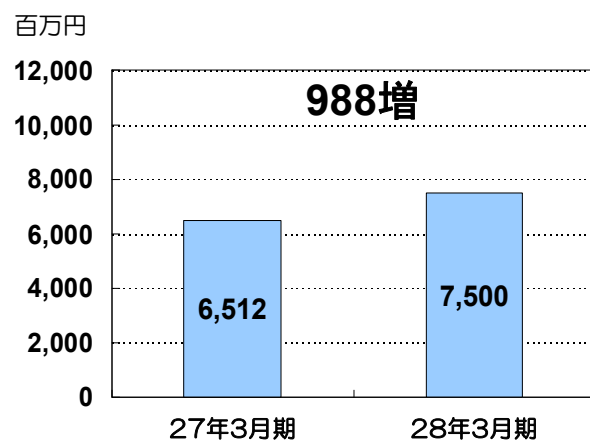


28/3予想 設備投資・減価償却費

■設備投資

POINT

新規立上り対応による投資の増加を見込んでおります

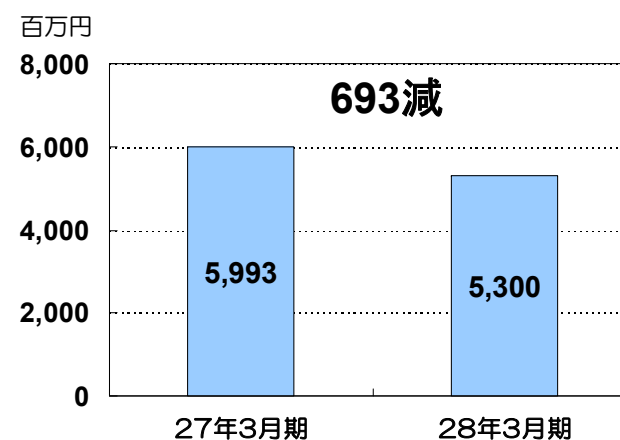


	27年3月期 (実績)	28年3月期 (予想)	増減額
日本	3,056	3,100	44
北米	1,829	1,492	▲337
メキシコ	442	993	551
中国	740	936	196
タイ	323	800	477
フィリピン	89	120	31
台湾	0	39	39
インド	27	17	▲10
インドネシア	3	3	0
合計	6,512	7,500	988

■減価償却費

POINT

日本において減価償却費の減少を見込んでおります



	27年3月期 (実績)	28年3月期 (予想)	増減額
日本	3,064	2,427	▲637
北米	1,739	1,655	▲84
メキシコ	75	96	21
中国	512	450	▲62
タイ	395	447	52
フィリピン	108	116	8
台湾	22	26	4
インド	74	76	2
インドネシア	0	6	6
合計	5,993	5,300	▲693

Ⅲ. 今後の経営方針

1. フェーズ1の振り返り

◆IMASEN 中長期経営目標

3年単位の中期ステップにて展開

Dream 2020

<2012～2014年度>
フェーズ1 重点展開方針

<2015～2017年度>
フェーズ2（中期計画見直し）

<2018～2020年度>
フェーズ3（中期計画見直し）

フェーズ1 期間中の
連結売上高 1,000億円の達成

2020年度目標
連結売上高 1,800億円
営業利益率7%

シートアジャスタ
世界トップ
環境・安全
新製品
非自動車

①研究開発の強化

②人材育成とグローバル活用

③グローバルでの事業拡大

④国内事業の再編

⑤非自動車領域の事業開発

⑥グローバルマネジメント確立

3年間の短期施策と、
2020年度ビジョンの達成に
向けた中長期施策を展開

・2012年～2020年の9年間で、連結売上高1,800億円、営業利益率7%達成を目指す

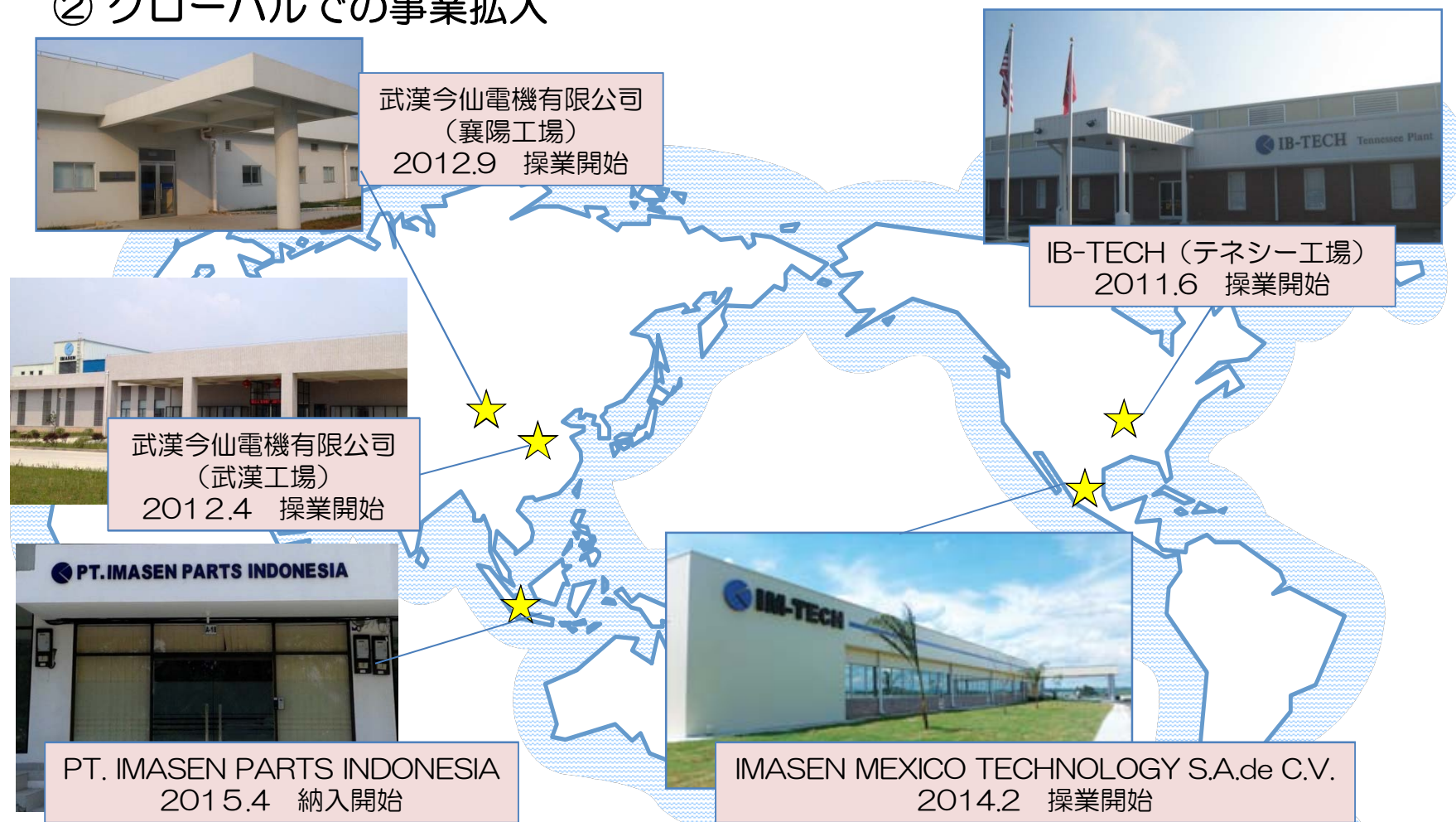
1. フェーズ1の振り返り 重点展開方針の結果

① 研究開発の強化



1. フェーズ1の振り返り 重点展開方針の結果

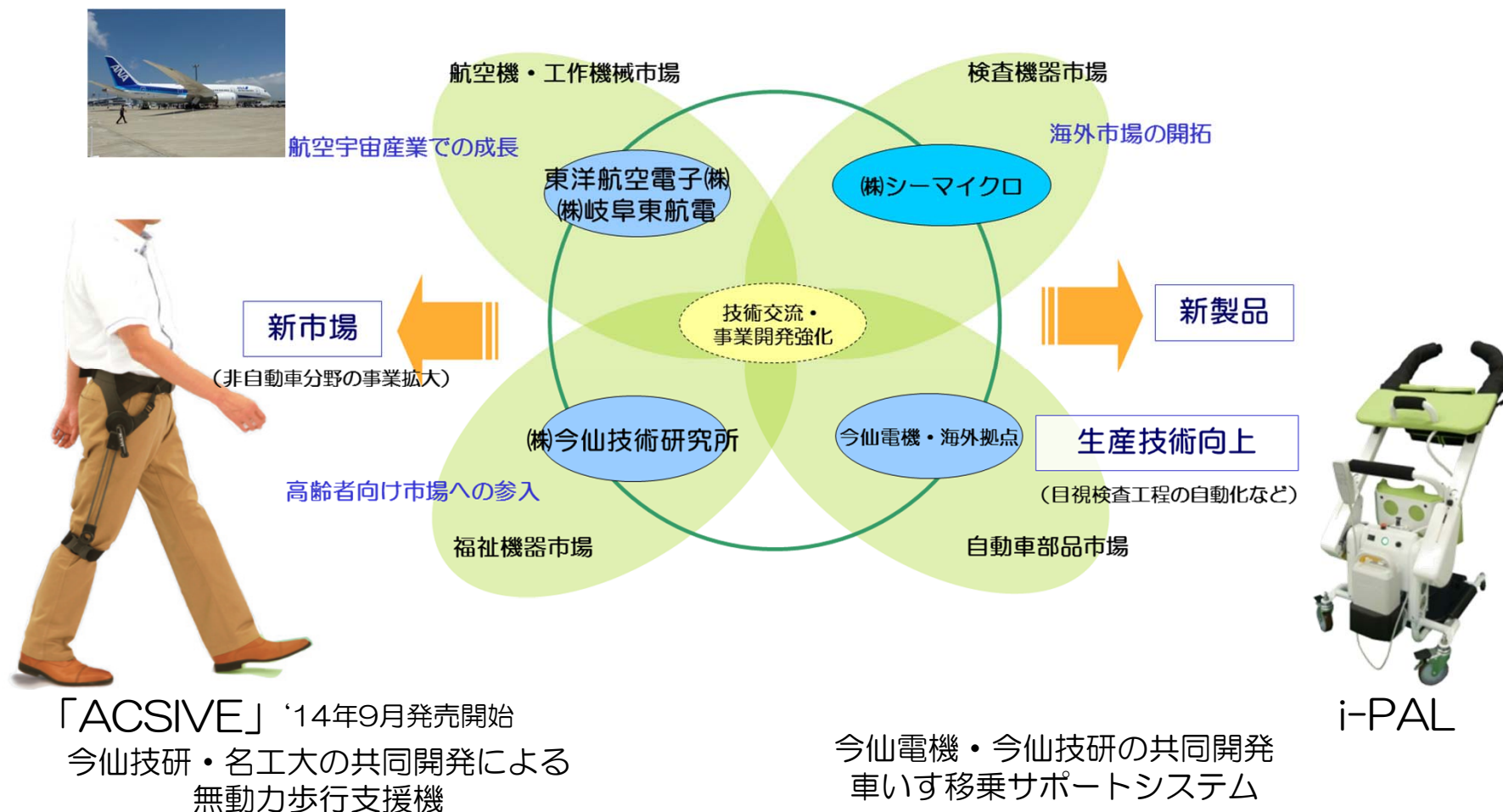
② グローバルでの事業拡大



・得意先の生産増加に対応することで、グローバルで事業拡大を果たした

1. フェーズ1の振り返り 重点展開方針の結果

③ 非自動車領域の事業開発



・今仙グループのシナジーおよび産学連携により、非自動車領域において新製品の開発・発売を果たした

1. フェーズ1の振り返り まとめ

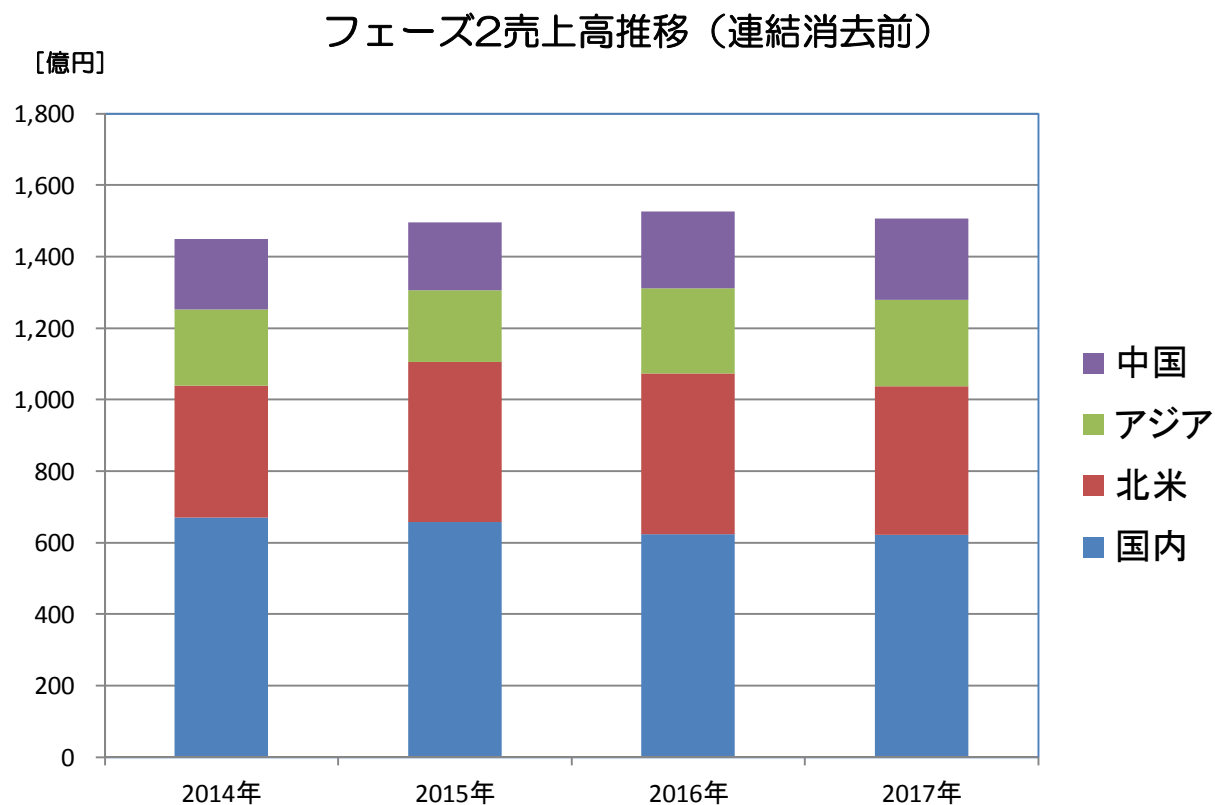
達成	未達成
• 客先の生産増加に対応することで事業拡大を果たし、連結売上目標1,000億円を達成した • 国内、北米、タイ、中国におけるグローバル開発体制及び電子開発の体制を強化した • グローバル人材育成強化に向けグローバル教育を開始した • 名工大との共同開発による福祉機器の製品化を果たした	• 14年度はアジアの生産減少と北米事業の収益悪化により計画未達となった • 事業拡大に対して、人材のスキルUP、自立化、マネジメントの強化 • グローバル競争激化の中、製造原価改善が十分に達成できていない



- アジアでの生産減少による影響およびグローバルでの競争激化により、収益面では厳しい結果となった
- フェーズ1の振り返りを踏まえてフェーズ2に繋げる

2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

フェーズ2 売上高推移（予想）

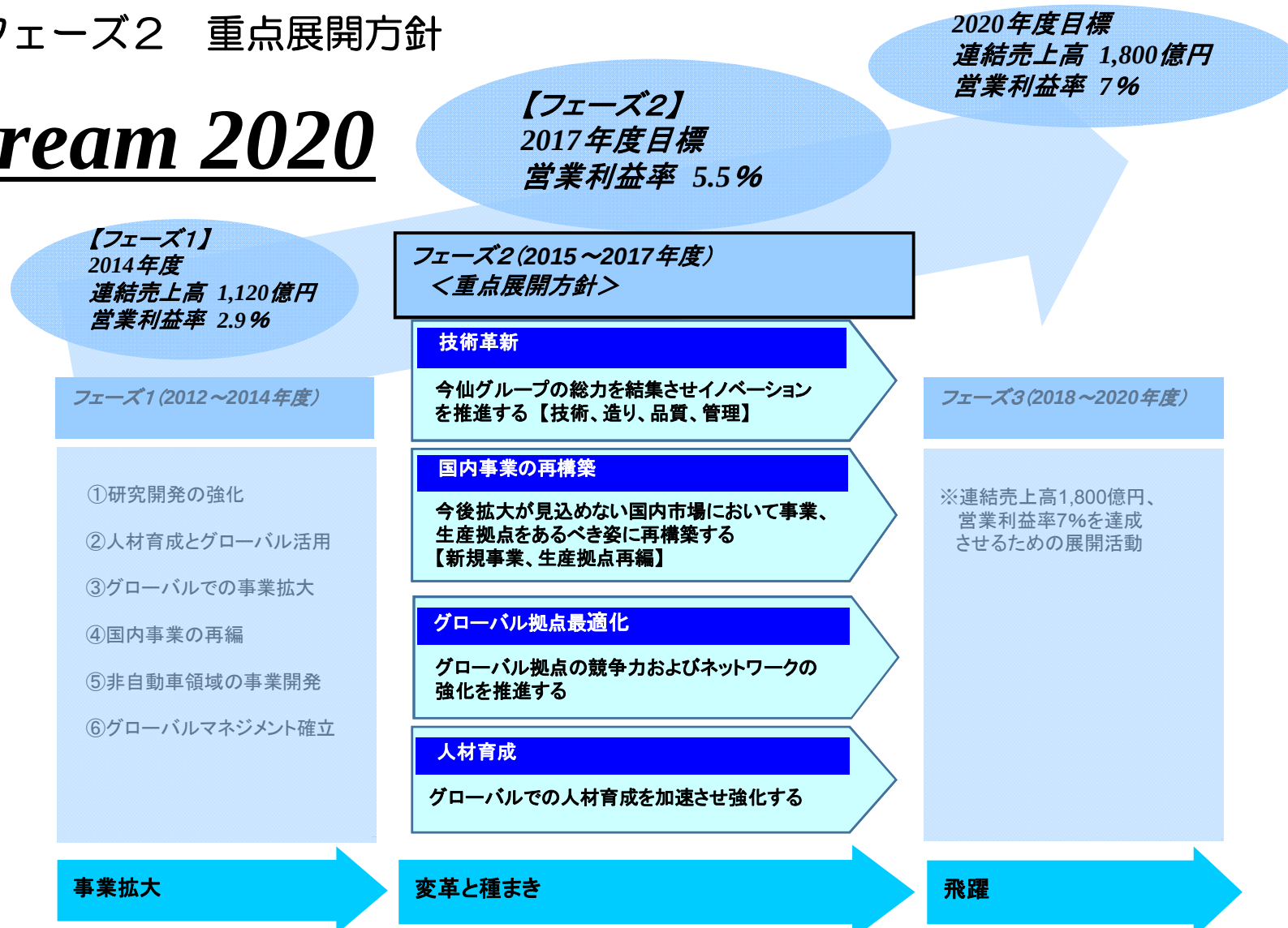


・フェーズ2（2015～2017年度）の連結売上高は横ばい

2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

フェーズ2 重点展開方針

Dream 2020



本資料の内容に関する一切の権利は伊崎今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

IMASENグローバル開発・研修センター



「IMASENグローバル 開発・研修センター」の概要

所在地：愛知県犬山市大字犬山
字東古券418-4

敷地面積：4,928 m²

延床面積：2,844 m²

施設内容：地上3階建て

（研究施設、研修施設、宿泊施設等）

グループの柱である自動車、福祉、航空宇宙、エレクトロニクス事業における新技術の創出及びコア技術・要素技術の研究に活用してまいります。

2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

IMASENグローバル開発・研修センターの活用

Dream2020達成に向けた新たな戦略

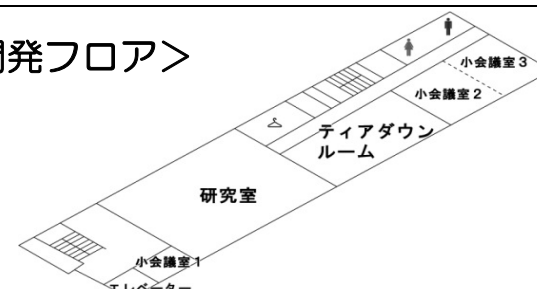


今仙グループの技術を結集
した開発体制により新しい価値
の創出とIMASENブランド
の構築を推進する

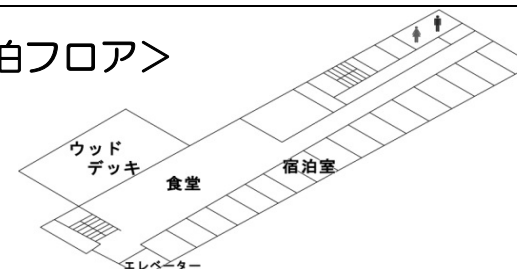
研修者同士の交流を深める
宿泊施設を完備

経営理念の共有化・マネジ
メントスキルの習得・語学の
習得を狙いとした研修を実
施

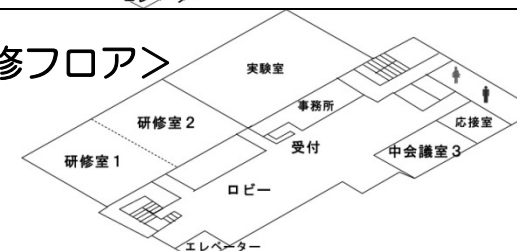
<3F 開発フロア>



<2F 宿泊フロア>



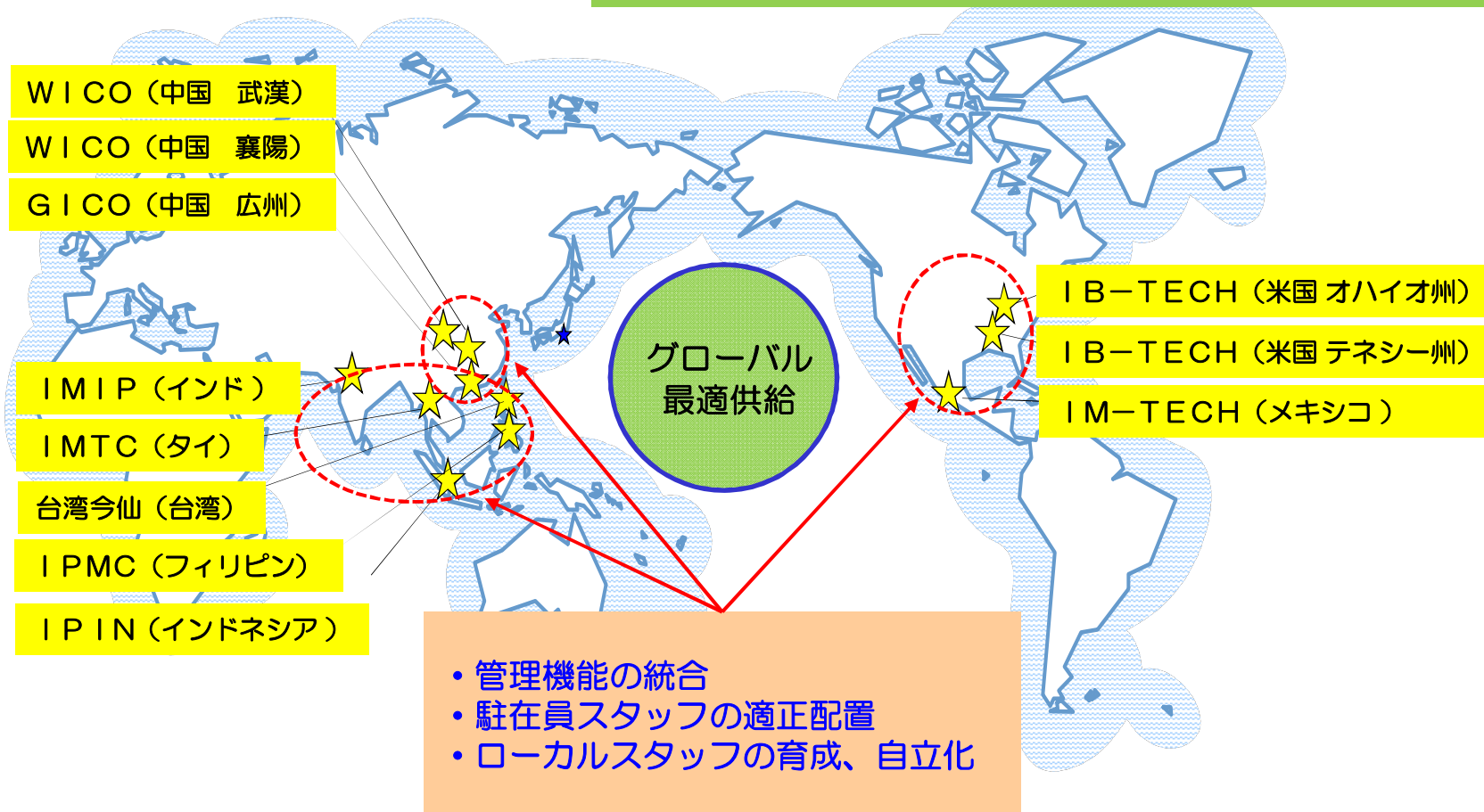
<1F 研修フロア>



2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

グローバル拠点最適化 …

現地化を基本的な考え方する。但しリソース有効活用観点からグローバル最適供給を推進する



2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

ドイツ支店設立



欧州市場参入への
足がかり

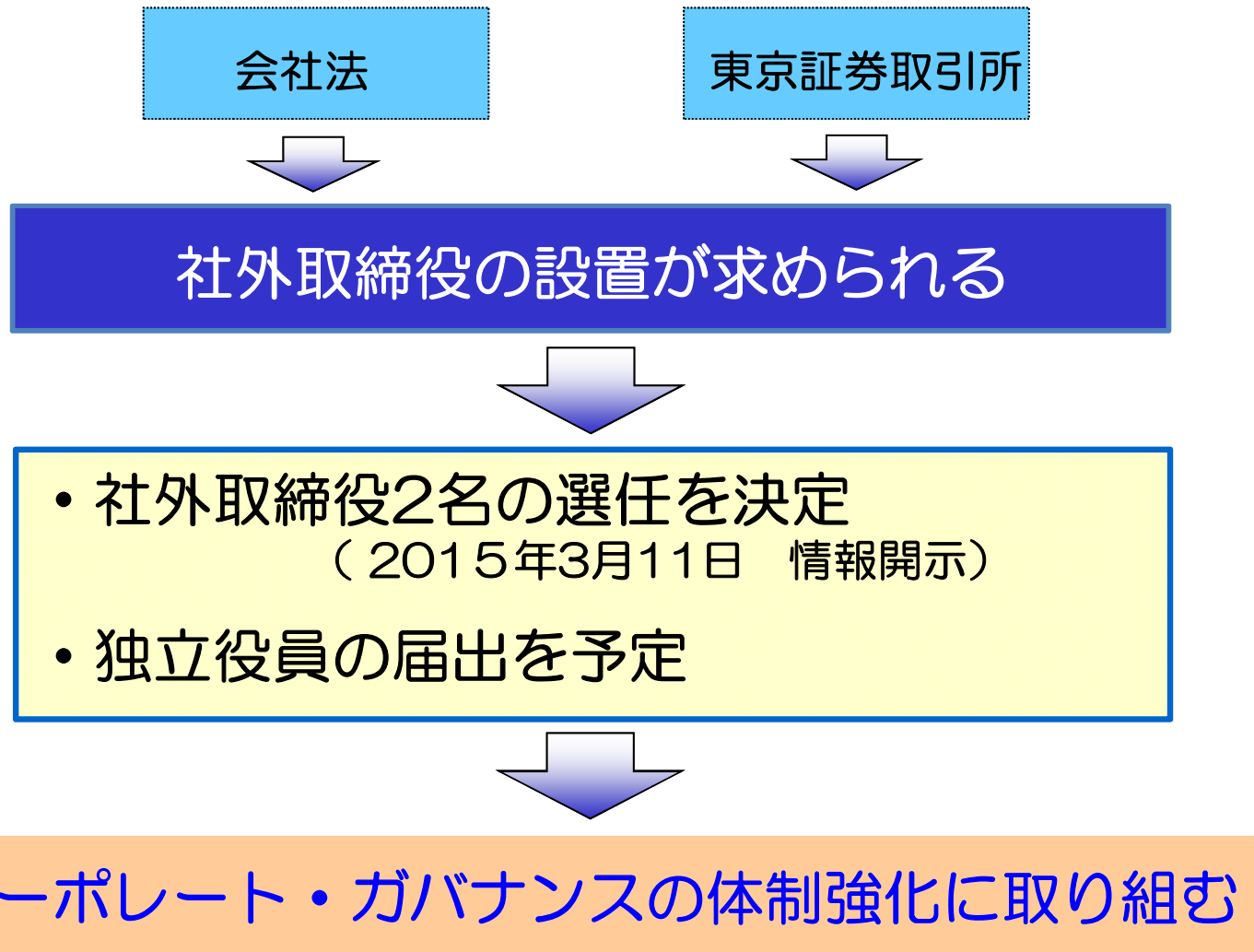
支店名：ドイツ支店
所在地：ドイツ
 フランクフルト市内
開設予定日：平成27年6月1日

情報収集および営業拡販活動を展開



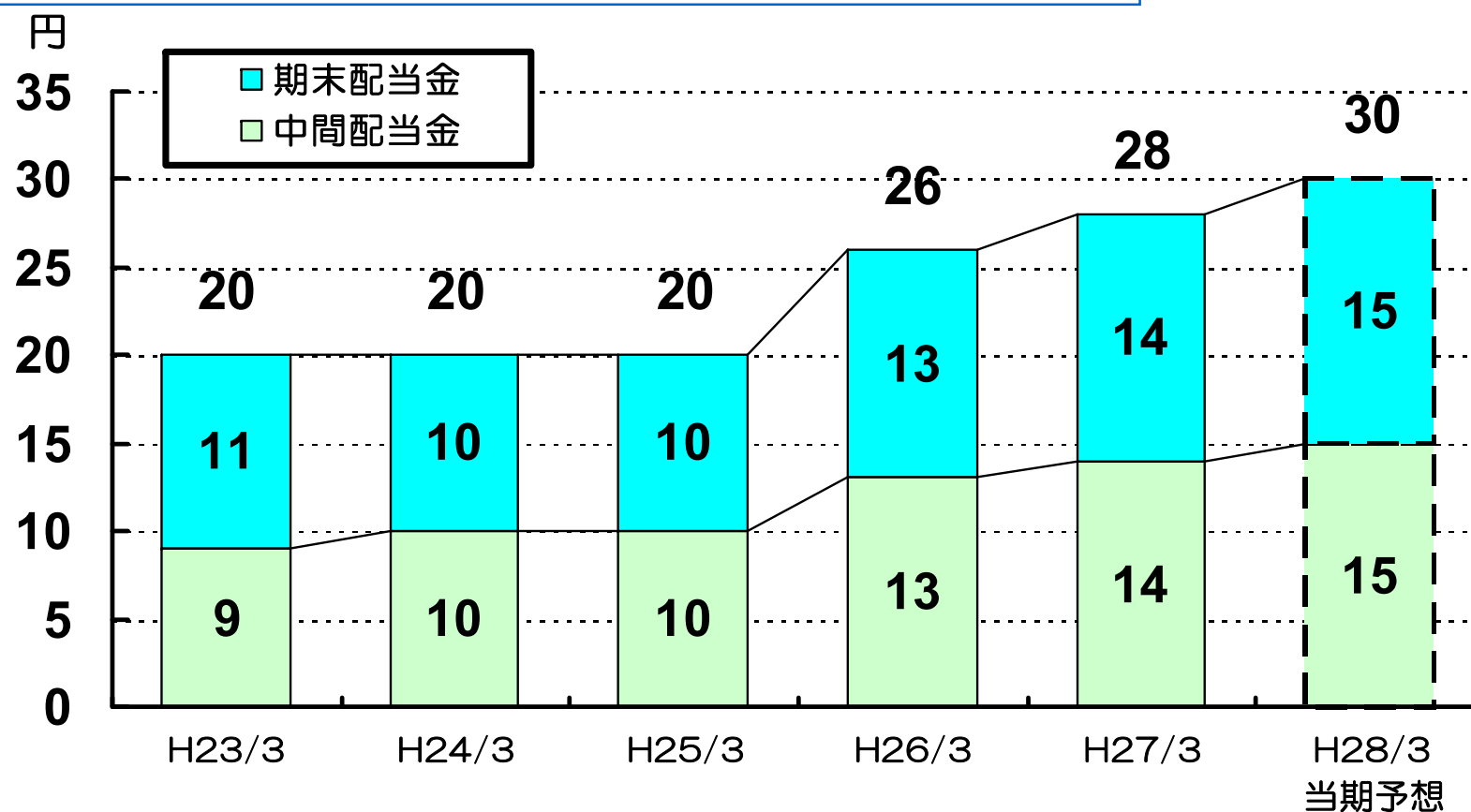
2. Dream2020 フェーズ2の取り組み

社外取締役制度の導入について



POINT

前期から増配となる年30円を予定しております



(ご参考) IRインフォメーション



今後のスケジュール

6/23 (火) 株主総会 (名鉄犬山ホテル)
7/24 (金)・25 (土) 名証IRエキスポ (名古屋・吹上ホール)
8 / 7 (金) 平成28年3月期第1四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営企画部 経営企画課
IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。